

市原市次世代育成支援行動計画(後期計画) 実績等一覧表(平成25年度)

資料1

基本目標	基本施策	【事業番号】事業名(担当課) 事業内容	H25 計画	H25 実施	後期計画実施状況 平成25年度		
I ともに育てるまちを目指して	1 育児を支える地域社会の形成	(1) 子どもの人権を守る意識の醸成	【1101】 市民の人権意識の高揚(継続) (人権・国際課) 子どもの人権を尊重する社会づくりと、その教育及び啓発を継続して行っています。	有	実施	①人権啓発事業への補助 ②人権啓発講演会 ③人権教室 ④教員の人権研修	①補助：1事業(1団体) ②開催：1回(450人) ③市内小学校8校28クラスで実施 ④市内採用3年目教員40名
		(2) 男女共同参画意識の醸成	【1102】 男女共同参画の意識の高揚(継続) (人権・国際課) 男女共同参画推進のため、啓発活動等を継続して行っています。	有	実施	①人権啓発講演会兼男女共同参画推進フォーラムの開催 ②市民企画講座の開催 ③男女共同参画センター企画事業の開催 ④若者のためのDV予防セミナーの開催 ⑤情報誌プリズムの発行 (町会・公共施設・小中学校・企業等)	①開催：1回(450人) ②開催：2事業(延べ90人) ③開催：2回(延べ120人) ④開催：市内中学校 9校(897人) ⑤発行：2回 10,000部/回
		(3) 職業生活と家庭生活の両立の推進	【1103】 多様な働き方が選択できる働きやすい環境づくりの啓発(継続) (商工業振興課) 関係法の周知及び啓発のほか、「ハローワーク千葉南マザーズコーナー」の利用を促進していきます。	有	実施	・千葉南公共職業安定所と共催した「新規学卒求人手続き等説明会」の場で、多くの事業所が集まるなか、改めて男女雇用機会均等法の説明を実施した。 ・子育て女性の就労支援を強化するため、市原ワークプラザに設置された「ハローワーク千葉南マザーズコーナー」の利用を促進するため、HP・チラシ等で周知した。 ・子育てのため離職を余儀なくされた方の再就職促進のため、千葉県と共催で再就職支援セミナーを開催した。	【新規学卒求人手続き等説明会】 参加企業：73社 【ハローワーク千葉南マザーズコーナー】 利用者数：3,641人 就職者数：271人 【再就職支援セミナー】 参加者数：21人
		(3) 職業生活と家庭生活の両立の推進	【1104】 仕事と子育ての両立を図る関係法制度の啓発(継続) (商工業振興課) 関係法及び「ワーク・ライフ・バランス」に関する周知・啓発に努めています。	有	実施	・千葉南公共職業安定所と共催した「新規学卒求人手続き等説明会」の場で、多くの事業所が集まるなか、改めて男女雇用機会均等法の説明を実施した。 ・男女格差のない就労環境づくりや、仕事と生活の両立ができるような環境作りを進めていくために、ホームページなどを活用して両立支援に関する情報や男女雇用機会均等法などについて周知を行った。	【新規学卒求人手続き等説明会】 参加企業：73社
		(3) 職業生活と家庭生活の両立の推進	【1105】 職場で保育できる環境づくり(継続) (保育課) 市内企業に対し、事業所内託児施設開設に関する補助制度等を紹介していきます。	有	実施	子ども未来財団、21世紀職業財団等の補助制度、県への届出等について紹介。	問い合わせ件数：7件
		(3) 職業生活と家庭生活の両立の推進	【1106】 子育てにやさしい企業顕彰事業(新規) (子ども福祉課) 子育て支援について積極的な取組をしている企業を募集し、その取組事例を広報紙、市ホームページで公表していきます。	有	実施	・応募企業 1社 ・表彰式 平成26年2月5日(水) ・顕彰企業を市ホームページで紹介	—
		(4) 次代の親の育成	【1107】 将来親となる世代に対する子育て意識の醸成(継続) (保育課) 将来親となる世代に保育体験をしてもらい、命の大切さ、子育ての楽しさを理解してもらえるようにします。	有	実施	小中学校の職場体験受け入れ(保育所)	参加：41校
		(4) 次代の親の育成	【1108】 人権に関する子どもたちの意識の醸成(継続) (子ども福祉課) 標語・ポスターを募集し、優秀作品を表彰します。子どもたちに意見発表の場を提供し、人権意識の高揚を図ります。	有	実施	・標語、ポスターの作品募集 ・優秀な作品の表彰 平成25年12月	・応募作品数 標語787点、ポスター44点 ・表彰 標語9名、ポスター9名

市原市次世代育成支援行動計画(後期計画) 実績等一覧表(平成25年度)

資料1

基本目標	基本施策		【事業番号】事業名(担当課) 事業内容	H25 計画	H25 実施	後期計画実施状況	
						平成25年度	
I ともに育てるまちを目指して	1 地域育 成社会 の支 え	(5) 地域ぐ るみでの子育 て意識の醸成	【1109】(仮称)次世代育成支援推進条例の制定(新規) (子ども福祉課) 子どもの健やかな成長を地域ぐるみで支援する気運の更なる醸成を図るため、タウンミーティングなどを行いながら条例を制定します。	無	完了・実施	・4ヵ月児訪問の際に、リーフレットを配布した。 ・子育て支援員協議会主催のこどもフェスタ2013時にブースをつくりリーフレットの設置及び周知を行った。 ・子育て応援団主催のパパママフェスタ時にブースを作りリーフレットの設置及び周知を行った。	4ヵ月児訪問時の配布部数：2,090部
			【1201】地域福祉計画の推進(継続) (保健福祉課) 市民ボランティア、NPO法人、民間事業者などと行政が協働して地域福祉計画を改訂し、誰もが住みなれた地域で、自立して暮らせるまちの実現を目指していきます。	有	実施	・小域福祉ネットワークの設置促進 ・市原市社会福祉協議会との連携促進	新規設置：10小学校区(千種、東海、八幡、国府、温津、市東第一、旧白鳥、旧富山、旧高滝、旧里見) 設置合計：43小学校区 説明会開催：2小学校区
	2 地域にお ける子育 て支援	(1) 地域にお ける子育 てサービ ス	【1202】子育て支援員活動(継続) (子ども福祉課) 乳児家庭全戸訪問やイベントの実施などを通して、地域の子育て支援を進めます。	有	実施	1 子育て家庭訪問事業 市の委託に基づき、概ね生後4ヵ月児のいる家庭を全戸訪問し、子育てガイドブックの配布・子育て相談等を実施。(開始)平成18年6月1日から 2 協議会本部活動 本部事業として下記事業を実施。 (事業名)こどもフェスタ2013 (開催日)平成25年8月10日(日) (場 所)YOUホール (内 容)紙さかなつりゲーム・バルーンアート・ビニールドーム・新聞紙で玉入れ・新聞シャワーほか 3 協議会支部活動 各支部にて各種主催事業を実施。 (内 容)子育て広場/救急講習会/運動会/クリスマス会/親子遊び/料理教室等 4 その他 社会福祉協議会と協力し、各支部において子育て支援事業を実施。	・4ヵ月児家庭訪問実施 2,136件 ・こどもフェスタ2013の開催 約1,000人 ・支部主催事業の実施 ・社会福祉協議会との協力事業の実施 ・子育て支援員研修の実施
			【1203】家庭・地域に開かれた幼稚園(継続) (指導課) 幼稚園で子育て相談や園庭開放を実施していきます。	有	実施	・「子育て相談」を実施した。 ・「園庭開放」を実施した。 ・「子育て支援講座」を実施した	・毎週金曜日の午後2時から午後4時を「子育て相談日」として子育て相談を実施し、6園で49件の相談があった。 ・毎週金曜日の午前「園庭開放」を行い、6園で1,387人の未就園児の利用があった。 ・各公立幼稚園で「子育て支援講座」を開催した。
		【1204】家庭・地域に開かれた保育所(継続) (保育課) 保育所で子育て相談や園庭開放を実施するほか、近隣の自治会、高齢者施設等との世代間交流事業を推進していきます。	有	実施	園庭開放(9:00~12:30) 世代間交流事業	園庭開放(公立保育所17ヶ所、民間保育園4ヶ所) 世代間交流 各保育所(園)で年1回	

市原市次世代育成支援行動計画(後期計画) 実績等一覧表(平成25年度)

資料1

基本目標	基本施策	【事業番号】事業名(担当課) 事業内容	H25 計画	H25 実施	後期計画実施状況		
					平成25年度		
I ともに育てるまちを目指して	2 地域における子育て支援	(1) 地域における子育てサービス	【1205】地域子育て支援拠点の設置(拡充) (保育課) 本市の現状は、センター型4か所、ひろば型1か所(サンブラザ市原で実施する「つどいの広場」)の合計5か所となっています。 国では、地域子育て支援拠点(ひろば型・センター型・児童館)を中学校区に1か所の設置を目標としています。 今後、私立保育所へセンター型として3か所新設するほか、公立保育所での拡充を検討し、地域子育て支援拠点を合計11か所とすることを目指します。	有	未実施	拡充なし (平成26年4月開園の私立保育所に支援センターを新設予定)	6ヶ所
			【1205】地域子育て支援拠点の設置(拡充) (子ども福祉課) 本市の現状は、センター型4か所、ひろば型1か所(サンブラザ市原で実施する「つどいの広場」)の合計5か所となっています。 国では、地域子育て支援拠点(ひろば型・センター型・児童館)を中学校区に1か所の設置を目標としています。 今後、私立保育所へセンター型として3か所新設するほか、公立保育所での拡充を検討し、地域子育て支援拠点を合計11か所とすることを目指します。	有	実施	○ちびっこふれあい広場 ・運営委託先：NPO法人市原市子どもセンター ・委託料：4,570千円 ・実施日数：244日 ・利用者数：18,619人(月平均1,552人) (利用者内訳) 幼児：10,200人 保護者等：8,419人 ・相談件数：1,147件(月平均96件) (相談内訳) 発育：240件 食事：0件 育児：454件 しつけ：453件 その他：0件 ・講習会：97回 ・ボランティア養成講座：24回	1ヶ所(サンブラザ市原)
			【1206】保育所における子育て支援事業(新規) (保育課) 子育て支援センターの未設置保育所における子育て支援事業を推進していきます。	有	実施	子育て支援センター未設置保育所での子育て支援事業の実施 園庭開放 育児相談 情報提供 行事体験 育児講座	公立保育所15ヶ所
			【1207】コミュニティセンター及び町会集会施設の活用 (継続) (市民活動支援課) 地域交流施設という位置づけから、コミュニティセンターや町会集会施設で遊びや相談による世代間交流の場を提供できるようにしていきます。	有	実施	・コミュニティセンターの活用 (こどもルームの活用・子育て相談業務、読み聞かせ、幼児教室等) ・町会集会施設の新築 (子ども会、世代間交流事業等)	新築1町会 町会集会施設整備率：約74%
			【1208】児童館による相談事業(新規) (子ども福祉課) 地域の子育て親子の交流を促進している児童館に相談機能を持たせ、子育ての不安感を緩和します。	有	実施	姉崎保健福祉センター(児童館)及び菊間保健福祉センター(児童館)で子育てに対する相談業務を実施	相談件数 ・姉崎保健福祉センター 37件 ・菊間保健福祉センター 114件



市原市次世代育成支援行動計画(後期計画) 実績等一覧表(平成25年度)

資料1

基本目標	基本施策	【事業番号】事業名(担当課) 事業内容	H25 計画	H25 実施	後期計画実施状況		
					平成25年度		
I ともに育てるまちを目指して	2 地域における子育て支援	(2) 保育サービスの充実	【1209】待機児童解消事業(保育施設の充実)〈拡充〉 (子ども福祉課) 認可保育所で行う通常保育であり、本市の現状は、公立・私立保育所を合わせ、定員2,126人で実施しています。 平成26年度におけるニーズ量の見込みは、定員4,140人となっており、今後は、増大する保育需要への対応として、積極的な認可保育所の開設に加え、企業における事業所内託児所設置の誘導、家庭的保育事業の拡大、認可外保育所利用者への補助等を通して、地域の多様な主体による保育事業への参加を促すほか、既存公共施設資源の有効活用策の検討・実施など、総合的な待機児童解消策の推進を図ります。また、民間保育所の誘致・運営については、国の補助事業の活用を図りながら推進します。 認可保育所としては、平成23年度当初までに私立保育所2か所を開設するほか、平成25年度に私立保育所1か所の開設を検討することとします。	有	実施	・平成27年4月1日開園予定の3歳未満児対応保育園(定員60名)の設置運営事業者公募  ・平成25年10月31日設置運営事業者候補者決定(仮称)杏第二保育園:社会福祉法人杏の会  ・つぼみの森保育園(定員170名)整備及び開園準備(平成26年4月1日開園)	定員2,536人
			【1210】家庭的保育(家庭的保育者の増)〈拡充〉 (保育課) 待機児童の解消を図るため、家庭的保育者の増員を検討していきます。	有	実施	家庭的保育者の公募(1回) 家庭的保育者候補者の選考 家庭的保育者候補者への研修の実施	8人
			【1211】広域的保育所利用事業〈新規〉 (保育課) 送迎センターを起点として、定員割れしている保育所に車で児童を送迎し、保育することを検討していきます。	無	未実施	未実施	—
			【1212】保育所分園化事業〈新規〉 (保育課) 公共施設等の空きスペースを活用した保育所の分園化について検討します。	無	未実施	未実施	—
			【1213】延長保育(保育時間の延長)〈拡充〉 (保育課) 本市の現状は、公立保育所13か所、私立保育所3か所において利用を希望する方の登録方式により実施しており、平成20年度のサービス利用登録率は保育所定員に対して35.0%となっています。 平成26年度におけるニーズ量の見込みは月1,296人となっており、今後は、新設する私立保育所3か所で実施するほか、公立保育所の午後8時までの実施時間の拡大を検討します。 なお、利用目標人数は現状のサービス利用登録率を勘案して835人とします。	有	調整・準備・課題検討等	拡充なし (平成26年度に牛久保育所・椎津保育所・市津保育所で延長保育の拡充予定) (新設民間保育園で実施予定)	午後8時まで 公立保育所8ヶ所 私立保育所5ヶ所 午後7時まで 公立保育所5ヶ所 利用人数807/月
			【1214】特定保育(実施保育所の増)〈拡充〉 (保育課) 本市では、平成19年度から、保護者の就労形態等により毎日の保育所利用までには至らないが、一定程度の保育サービスが必要となる児童を保育する事業を実施しています。 国から設置基準などは示されていませんが、今後、公立保育所での実施か所の増加、新設私立保育所での実施により、受け入れの拡大を図ります。	有	未実施	拡充なし (平成26年度に民間保育園が実施予定)	10ヶ所

市原市次世代育成支援行動計画(後期計画) 実績等一覧表(平成25年度)

資料1

基本目標	基本施策	【事業番号】事業名(担当課) 事業内容	H25 計画	H25 実施	後期計画実施状況 平成25年度		
I ともに育てるまちを目指して	2 地域における子育て支援	(2) 保育サービスの充実	【1215】一時預かり(実施か所の増)〈拡充〉 (保育課) 本市の現状は、公立保育所6か所、私立保育所2か所で実施しています。 平成26年度におけるニーズ量の見込みは年間615,594日となっており、今後は、公立保育所の実施か所の増加、新設私立保育所での実施のほか、サンプラザ市原での実施を検討し、保護者の疾病や育児疲れによる心理的・身体的負担の軽減を図ります。	有	未実施	拡充なし (平成26年度に民間保育園が実施予定)	10ヶ所
			【1215】一時預かり(実施か所の増)〈拡充〉 (子ども福祉課) 本市の現状は、公立保育所6か所、私立保育所2か所で実施しています。 平成26年度におけるニーズ量の見込みは年間615,594日となっており、今後は、公立保育所の実施か所の増加、新設私立保育所での実施のほか、サンプラザ市原での実施を検討し、保護者の疾病や育児疲れによる心理的・身体的負担の軽減を図ります。	有	調整・準備・ 課題検討等	検討部会の開催	検討部会：1回
			【1216】日曜・休日保育の実施〈拡充〉 (保育課) 本市の現状は、私立保育所3か所において利用を希望する方の登録方式により実施しており、平成20年度のサービス利用登録率は保育所定員に対して22.76%となっており、うち、実際にサービスを利用しているのは保育所定員に対して1日当たり2.3%となっています。 平成26年度におけるニーズ量の見込みは定員324人となっており、今後は、新設する私立保育所2か所を含めた5か所での実施に努めることとし、利用目標人数は、何らかの機会にサービスを利用する可能性のある現状のサービス登録率を勘案して180人とします。	有	未実施	拡充なし (平成26年度に民間保育園が実施予定)	2ヶ所30人
			【1217】低年齢児保育(実施保育所の増)〈拡充〉 (保育課) 新設する私立保育所において実施するほか、公立保育所においての拡充を検討していきます。	有	未実施	拡充なし	産休明け保育11ヶ所 0歳児保育16ヶ所
			【1218】障がい児保育(実施か所の増)〈拡充〉 (保育課) 障がい児保育実施保育所数の拡充を検討していきます。	有	実施	袖ヶ浦保育所で実施	11ヶ所(1ヶ所増)
			【1219】保育料の適正化〈継続〉 (保育課) 受益者負担率及び国の徴収基準額を確認し、適正な保育料設定に努めていきます。	有	調整・準備・ 課題検討等	保育料の原価計算及び受益者負担率の検討を実施し、現在適正である旨確認。市の徴収基準額表の変更は行っていない。	—
			【1220】認可外保育補助事業〈拡充〉 (保育課) 認可外保育施設利用者(3歳以上児)への補助及び認可外保育施設への補助を検討していきます。	無	完了	未実施(H23達成済のため)	—

市原市次世代育成支援行動計画(後期計画) 実績等一覧表(平成25年度)

資料1

基本目標	基本施策	【事業番号】事業名(担当課) 事業内容	H25 計画	H25 実施	後期計画実施状況 平成25年度		
I ともに育てるまちを目指して	2 地域における子育て支援	(2) 保育サービスの充実	【1221】産休・育児休業明けの就労支援(継続) (保育課) 入所予約制度の導入の研究を継続していきます。	有	未実施	検討中につき未実施	—
			【1222】病後児保育事業(継続) (保育課) 本市の現状は、3か所で実施しており、定員に対する施設稼働率は、平成20年度で25.87%となっています。平成26年度におけるニーズ量の見込みは年間15,439日となっており、今後は、施設稼働率を30%に引き上げることを目標に3か所での実施を継続していきます。	有	実施	新たに病児・病後児保育施設を一か所開設。	4ヶ所 1,156人/年
			【1223】幼稚園と保育所の連携(幼保一元化)(継続) (教育総務課) 幼稚園・保育所の効果的な活用に向け、幼稚園と保育所の連携(幼保一元化)の方針を策定します。	有	実施	私立幼稚園等園児補助関係業務を保育課に移管し、窓口の一元化を図った。	—
			【1223】幼稚園と保育所の連携(幼保一元化)(継続) (子ども福祉課) 幼稚園・保育所の効果的な活用に向け、幼稚園と保育所の連携(幼保一元化)の方針を策定します。	有	調整・準備・課題検討等	・平成27年4月からの子ども・子育て支援新制度施行が見込まれるため、説明会に参加し、制度内容の把握、スケジュール設定等の準備を進めるとともに、関係部局との調整を進めた。 ・笑顔が広がるいちはらっこの子育て支援条例を一部改正(平例25年9月1日施行)し、子ども・子育て支援法に基づく「いちはらっこの子育て支援会議」を設置した。 ・いちはらっこの子育て支援会議を2回開催した。 ・私立幼稚園に対して、新制度の説明会を2回実施した。 ・私立幼稚園に対して、新制度に関する意向調査を実施した結果、4園が認定こども園化の意向を示した。詳細を検討したところ、1園がH27年4月認定こども園化の実現可能性が高いと見込まれるため、事務を進めた。	いちはらっこの子育て支援会議開催 2回 私立幼稚園向け説明会開催 2回
		【1224】幼稚園での預かり保育(継続) (学校教育課) 市立幼稚園での預かり保育の実施について検討し、推進を図っていきます。	有	調整・準備・課題検討等	幼保一元化を含む「子ども・子育て新システム」について研究する中で、この事案を含め包括的に検討した。	—	
		【1225】ファミリー・サポート・センター(継続) (子ども福祉課) 本市では、平成18年度に1か所を開設しています。国では、市及び特別区にあっては、原則として1か所以上の設置を平成29年度目標事業量として設定することとしています。今後は、地区サブリーダーの配置等による事業の充実強化に努め、1か所での継続実施とします。	有	実施	育児の援助を受けたい者(利用会員)と援助を行いたい者(協力会員)が会員となって地域で子育てを支援する「いちはらファミリー・サポート・センター」を継続。 運営を市原市社会福祉協議会に委託し実施している。	○会員数(平成26年3月末現在) 合計393人(前年度比2人減) 利用会員 295人(前年度比増減なし) 協力会員 78人(前年度比増減なし) 両方会員 20人(前年度比2人減) ○サブリーダー配置 3名(ちはら台地区・五井地区・辰巳台市原地区)	



市原市次世代育成支援行動計画(後期計画) 実績等一覧表(平成25年度)

資料1

基本目標	基本施策	【事業番号】事業名(担当課) 事業内容	H25 計画	H25 実施	後期計画実施状況 平成25年度		
I ともに育てるまちを目指して	2 地域における子育て支援	(3) 子育てサービス・情報・交流の場の提供	【1226】 余裕教室の有効利用(継続) (教育施設課) 教育活動充実のための教室を確保した上で余裕教室が発生した場合は、福祉施設や社会教育施設等への活用を図ります。	有	実施	・放課後児童健全育成事業(学童保育)を実施 ・外国人子ども学習教室の開催 ・広場のびのび「すまいる」を実施 ・災害発生時の避難場所となる各学校に、即座に物資の提供ができるよう防災備蓄庫を設置	・学童保育 31校38教室 ・外国人子ども学習教室 白金小 ・広場のびのび「すまいる」 水の江小 ・防災備蓄庫 37校39教室
			【1227】 空き店舗活用(継続) (商工業振興課) 中心市街地活性化計画との整合を図りながら、支援を検討していきます。	有	未実施	未実施	—
			【1228】 子育てハンドブック(継続) (子ども福祉課) 子育てに関する情報誌を配布し、情報不足による育児不安の解消を図ります。	有	実施	市原市子育てガイドブックの配布 行政情報編：市民課・各支所窓口・保健センター 体験談編：市子育て支援員が直接各家庭を訪問し配布。	【配布数】 ○子育てガイドブック(行政情報編) 約245冊/月 ○子育てガイドブック(体験談編) 2,090冊
			【1229】 子育てバリアフリーマップ(継続) (子ども福祉課) 乳幼児親子が利用しやすい施設の整備状況マップを作成し、子育て家庭や企業にも配布することにより、子育てしやすい環境の整備を図っていきます。	有	実施	市のホームページのCMSの移行に伴い、子育て支援のページを充実させた。またスマートフォン向けとしても公開できる仕様になったため、CMS機能を利用した子育てマップ作成の検討を行った。	—
			【1230】 老人クラブの育成(継続) (高齢者支援課) 世代間交流の実施割合を増加させるための働きかけ等を行い、実施率を向上させ、地域ぐるみの子育て支援を推進します。	有	実施	防犯パトロール、登下校の見守り支援、昔の遊び、運動会への参加、子ども会の応援、盆踊り大会、餅つき大会等の各種事業協力を実施。	実施クラブ数：52クラブ 世代間交流実施率：34%
		【1231】 市原市生涯学習サポートバンク「まちのせんせい」(継続) (生涯学習センター) 専門的な知識、技能、経験等を有し、ボランティア意欲のある個人や団体を登録し、講師として紹介します。	有	実施	・登録講師の各種活動への紹介〔無償〕 (公民館・学校・幼稚園・保育所・コミュニティセンター・市民活動団体主催事業等) ・新たに「まちのせんせい」に申請した方に対し研修会を行い登録した。	登録者：47人 登録団体：7団体 派遣：43回 受講者：1703人	
		【1232】 放課後児童健全育成(学童保育)(拡充) (保育課) 本市の現状は、24校27児童クラブで実施しています。平成26年度におけるニーズ量の見込みは定員3,051人となっており、今後は、切れ間ない保育の実現に向け、全小学校への設置を図ります。	有	実施	新たに市西小、養老小、内田小の3か所に設置	新規設置数：3校3児童クラブ(定員95人)設置(平成25年度7月開設) 設置総数：41校49児童クラブ	
		【1233】 学童保育延長保育時間の拡充(新規) (保育課) 長期休業日について、利用者の就労時間を考慮し、延長保育時間を30分早め、7時30分から開所することを検討します。	有	調整・準備・課題検討等	利用者に延長についてのニーズ調査を実施	—	
		【1234】 青少年健全育成団体への支援(継続) (生涯学習課) 青少年健全育成団体等への支援を継続し、青少年の健全育成を推進していきます。	有	実施	・各種事業への後援 ・各種事業・団体への補助	・後援：8事業 ・補助：5事業及び3団体	
		【1235】 児童遊園(継続) (子ども福祉課) 危険箇所を減少させるとともに、計画的な遊具設置を図り、安全な遊び場の確保に努めます。	有	実施	・遊具の点検 ・遊具の修繕	—	

市原市次世代育成支援行動計画(後期計画) 実績等一覧表(平成25年度)

資料1

基本目標	基本施策	【事業番号】事業名(担当課) 事業内容	H25 計画	H25 実施	後期計画実施状況 平成25年度		
I ともに育てるまちを目指して	2 地域における子育て支援	(4) 児童の健全育成	【1236】冒険遊び場(プレーパーク)事業への支援(新規) (子ども福祉課) 地域で冒険遊び場(プレーパーク)事業を実施する団体に対し、補助金を交付していきます。	有	未実施	ホームページ等により、随時事業実施団体を募集しているが、実施を希望する団体がなかったため、補助金の交付はなし。	—
			【1237】児童館(児童館整備)(継続) (子ども福祉課) 南部保健福祉センターの整備事業の中で、新しい児童館の整備を進めます。	有	実施	(仮称)南部保健福祉センター内児童館の設備内容を検討、決定した。	—
			【1238】地域ぐるみの青少年健全育成(継続) (生涯学習課) 地域ぐるみで実施している青少年育成地区民会議を活性化させ、子どもたちが安心して成長できるまちづくりを行います。	有	実施	・青少年健全育成推進大会の共催 ・市民会議定期総会の開催協力 ・市民会議運営委員会の開催協力 ・団体への補助	・推進大会の参加者数：250人 ・定期総会の開催：1回 ・運営委員会の開催：4回 ・補助：1団体・882千円
	3 要保護児童への対応などきめ細かな取組の推進	(1) 母子家庭等の自立支援の推進	【1301】児童扶養手当(拡充) (子ども福祉課) 現在、支給対象は母子家庭に限定されていますが、現在国において拡充が進められている父子家庭への支援との整合を図り、適正な支給を行います。	有	実施	7月の広報いちはらに当手当の概要を掲載し、電話や窓口での案内の際は、ひとり親家庭等医療費等助成制度とともに説明するなど、周知を図った。	【資格認定件数】 ・母子家庭：346件 ・父子家庭：20件 ・養育者家庭：7件
			【1302】ひとり親家庭等医療費等助成(継続) (子ども福祉課) 母子家庭・父子家庭・養育者家庭に対し、制度の周知を図り、当該家庭の自立を支援していきます。	有	実施	7月の広報いちはらに当医療費等助成制度の概要を掲載し、電話や窓口での案内の際には児童扶養手当とともに説明するなど、制度の周知を図った。 また、医療費の助成申請をした受給者に対しては、原則申請した翌月末に助成金を支給している。	申請件数：3, 318件
			【1303】母子寡婦福祉資金貸付(継続) (子ども福祉課) 母子家庭・寡婦等に対し、制度の周知を図り、経済的負担の軽減を支援していきます。	有	実施	○広報いちはらや市のホームページに掲載したり、子ども福祉課窓口パンフレットを置いた。 ○市内県立高校及び中学校に制度の説明をした。 ○母子自立支援員が申請手続き等担当した。 ○貸付後の指導として、対象者に償還や就職を促す文章を送付した。(市原ワークプラザ等)	資金貸付申請件数 1件 (就学支度資金)
			【1304】母子寡婦福祉団体への支援(継続) (子ども福祉課) 母子家庭及び寡婦の自立助長に努める団体の活動に補助金を交付し、活動を支援していきます。	有	実施	母子・寡婦家庭の福祉向上と自立を目的とし、活動団体の運営および活動の経費に対して補助金を交付した。	(母子寡婦福祉会活動費補助金) 123千円
			【1305】遺児手当(継続) (子ども福祉課) 父母の片方または両方と死別などした義務教育修了までの児童・生徒を養育している保護者に制度の周知を図り、継続して実施していきます。	有	実施	電話や窓口での案内の際、児童扶養手当やひとり親家庭等医療費等助成制度とともに、該当と思われる市民に対しては手当の説明をするなど、周知を図った。 4月と10月2回の定期払いの月に支給を行っている。	資格認定件数：36件
			【1306】母子家庭等修学援助金(縮小) (子ども福祉課) 現在、母子家庭等で高等学校等に在学する生徒を養育している方に支援を行っています。国において新たに創設される高等学校等の実質無償化との整合を図り、補助対象範囲を見直していきます。	無	完了	平成22年4月1日廃止	—



市原市次世代育成支援行動計画(後期計画) 実績等一覧表(平成25年度)

資料1

基本目標	基本施策	【事業番号】事業名(担当課) 事業内容	H25 計画	H25 実施	後期計画実施状況 平成25年度	
I ともに育てるまちを目指して	3 要保護児童への対応などきめ細かな取組の推進	(1) 母子家庭等の自立支援の推進	有	実施	①ひとり親家庭就業支援教育訓練促進給付金事業 厚生労働大臣の指定する教育訓練を受講し修了した後、入学料及び受講料の20%相当額を支給 ただし支給額は4,001円から100,000円の範囲内 ②ひとり親家庭就業支援高等技能訓練促進給付金事業 就職を容易にするために必要な資格を取得するため、養成機関において、2年以上修業する場合の生活不安を解消し、安定した修業環境を提供するため、修業期間に相当する期間について支給 (1)訓練促進費 住民税非課税世帯月額 100,000円 課税世帯月額 70,500円 (2)入学支援修了一時金(修了後に支給) 住民税非課税世帯 50,000円 課税世帯 25,000円 ※平成25年度から、支給対象者に父子家庭の父も加わった。	給付金受給者数(平成26年3月31日現在) ①2人 ②17人
		【1308】言語指導事業(継続) (発達支援センター) 言語発達の障がいをかかえる児童に対して言語指導や相談を実施していきます。	有	実施	・言語の発達に遅れ等が見られる児童に対し、ことばの教室において言語指導及び相談を実施した	ことばの教室利用児童数 400人
		【1309】障がい児の早期発見(新規) (発達支援センター) 心身の発達障がい疑われる児童の早期発見のために、療育相談と巡回相談を実施していきます。	有	実施	・発達に不安を抱える児童の保護者を対象として相談を実施し、保護者へのアドバイスと児童の発達を促すために必要な支援を行った。 ・臨床心理士が市内の小学校、幼稚園、保育所を巡回し、関係者に児童への適切な関わり方を指導した。	・療育相談人数 191人 ・巡回相談回数 123回
		【1310】障がい児の療育(継続) (発達支援センター) 就学前の心身障がい児に対して指導・訓練を実施していきます。	有	実施	・心身障がい児の発達を促すために、療育ルーム母子通園クラスにおいて母子活動を基本とした指導・訓練を実施した。 ・母子分離クラスでは、身辺自立や社会性の発達を促す指導・訓練を実施した。 ・交流保育クラスでは、保育所での集団体験を通して社会性や協調性などの発達を促す指導・訓練を実施した。	・療育ルーム母子通園クラス利用児童数 55人(利用許可人数61人 途中退所含む) ・療育ルーム母子分離クラス利用児童数 22人(利用許可人数22人) ・療育ルーム交流保育クラス利用児童数 5人(利用許可人数6人 途中退所含む)
		【1311】放課後等デイサービス(継続) (障がい者支援課) 通所により、基本的動作の習得や集団生活への適応ができるよう、個別指導や集団療育により支援していきます。	有	実施	特別支援学校等への「福祉サービス説明会」を実施。新規手帳交付時など、相談に応じ、制度の説明を行った。また、利用に係る費用の支援を実施。	障害児数 656人 利用者数 364人 利用率 55.4%
		【1312】障がい児短期入所(継続) (障がい者支援課) 障がい児が児童福祉施設等に短期的に入所して適切な援護を受けられるよう支援していきます。	有	実施	特別支援学校等への「福祉サービス説明会」を実施。新規手帳交付時など、相談に応じ、制度の説明を行った。また、利用に係る費用の支援を実施。	障害児数 656人 利用者数 132人 利用率 20.1%
	(2) 障がい児施策の充実					

市原市次世代育成支援行動計画(後期計画) 実績等一覧表(平成25年度)

資料1

基本目標	基本施策	【事業番号】事業名(担当課) 事業内容	H25 計画	H25 実施	後期計画実施状況	
					平成25年度	
I ともに育てるまちを目指して	3 要保護児童への対応など きめ細かな取組の推進	(2) 障がい 児施策の充実	有	実施	○障がい児福祉手当(国) (対象者) 身体障害者手帳1級、2級の一部、療育手帳○Aまたはそれと同程度以上で日常生活に常時の介護を要する20歳未満の方。 (支給額) 月額14,280円(H25年4月~H25年9月) 月額14,180円(H25年10月~H26年3月) (支給月) 5月、8月、11月、2月	(支給対象者) 265人 (支給額) 20,069,500円
			有	実施	○心身障害児福祉手当(市) (対象者) 身体障害者手帳4級以上または療育手帳B1以上の20歳未満の方。 (支給額) ・身体障害者手帳1級、2級: 8,000円 ・身体障害者手帳3級: 5,000円 ・身体障害者手帳4級: 3,500円 ・療育手帳○A、A1、A2: 8,000円 ・療育手帳B1: 5,000円 ・重複児: 身体1,2級かつ療育○A、A1、A2: 11,000円 (支給月) 9月、3月	(支給対象者) 263人 (支給額) 19,673,500円
			有	実施	身体障害者手帳1、2級または療育手帳○A~A2を所持している方に対し、医療保険適用の医療費の自己負担額から、保険組合その他関係機関から助成される分を除いた金額を助成する。	対象人数: 231人
			有	実施	○特別児童扶養手当(国) (対象者) 身体障がい者手帳1級から3級、療育手帳○A、AとBの1またはそれと同程度の障害のある児童(20歳未満)を監護している父若しくは母、又は父母にかわって児童を養育している方(養育者) (支給額) 1級: 50,400円/月(H25年4月~H25年9月) 50,050円/月(H25年10月~H26年3月) 2級: 33,570円/月(H25年4月~H25年9月) 33,330円/月(H25年10月~H26年3月) (支給月) 4月、8月、11月	(支給対象者) 350人 (支給額) 192,610,920円

市原市次世代育成支援行動計画(後期計画) 実績等一覧表(平成25年度)

資料1

基本目標	基本施策	【事業番号】事業名(担当課) 事業内容	H25 計画	H25 実施	後期計画実施状況 平成25年度		
I ともに育てるまちを目指して	3 要保護児童への対応などきめ細かな取組の推進	(2) 障がい児施策の充実	【1317】特別支援学級就学児補助(継続) (学校教育課) 特別支援学級に入級している児童・生徒の保護者に対して、小中学校を通して制度の周知を図り、経済的負担の一部を補助していきます。	有	実施	特別支援学級に入級している児童生徒の保護者に対して、その負担能力に応じ、特別支援学級への就学に必要な経費の一部を補助した。	認定者数 小学校 201人 中学校 72人
		【1318】障がい児にやさしい教育環境づくり(特別支援教育コーディネーターの育成)(継続) (教育センター) 教職員を対象に研修会を実施し、各幼稚園・小中学校における特別支援教育コーディネーターを育成し、特別支援教育の在り方等を浸透させていきます。	有	実施	○第1回特別支援教育コーディネーター研修会Ⅰ (4月3日 参加者35名) ・特別支援教育コーディネーターの役割 ・個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成 ○第2回特別支援教育コーディネーター研修会Ⅱ (7月19日 参加者70名) ・特別支援教育コーディネーターと保護者や子どもとの関わり方について(アドラー心理学を生かして) ・学校メンタルヘルスの必要性 ・乳幼児から就労までの支援と連携について ○第3回特別支援教育コーディネーター研修会Ⅲ (2月14日 参加者66名) ・来年度に向けての引継ぎ準備について ・特別支援教育の現状と課題について、中学校区での情報交換と協議	○個別の指導計画を作成している 幼小中(58校/71校中) ○個別の教育支援計画を作成している 幼小中(42校/71校中)	
		【1319】児童手当(継続)子ども手当(新規) (子ども福祉課) 現在、小学校修了前までの児童を養育している家庭に児童手当を支給しています。国において新たに創設される子ども手当との整合を図り、制度を周知していくとともに、引き続き子育て世帯の経済的負担を軽減していきます。	有	実施	平成24年4月1日以降は児童手当として支給を行った。 児童手当は出生・転入等に伴い申請を受理し、認定した者に対して年3回の定期払いで支給を行った。 また、平成24年6月分からは所得制限が設けられ、受給者の所得額に応じて、児童手当又は特例給付として認定を行った。	受給者数: 26,807人 (平成26年3月31日現在)	
		【1320】乳幼児医療費助成(継続) (子ども福祉課) 小学校就学前までの乳幼児の通院・入院・保険調剤にかかる医療費を今後も継続して助成していきます。	有	実施	平成23年12月から医療費助成事業の対象者を小学校3年生までから中学校3年生までに拡大した。さらに、平成24年12月からは子ども医療費助成受給券による現物給付を開始している。なお、平成22年12月の事業拡大時に事業名を「子ども医療費助成」に変更した。	【子ども医療費助成受給者数】 36,453人 (平成26年3月31日現在)	
		【1321】すこやか児童医療費助成(新規) (子ども福祉課) 現在、小学生の継続7日以上入院について、1日目から医療費を助成しています。県の医療費助成に関する制度改正との整合を図りながら、助成を拡充していきます。	有	実施	平成23年11月までの継続7日以上入院について、1日目から医療費を助成する。同年12月からは「子ども医療費助成事業」拡充に伴い、本事業は廃止になったが、申請猶予期間を設けており、支払から2年以内である。	平成25年度は申請件数0件	
		【1322】市原市教育資金利子補給金交付(継続) (教育総務課) 日本政策金融公庫の教育資金一般貸付に係る利子に対する補給金を交付していきます。	有	実施	日本政策金融公庫から教育資金の融資を受けた者に対して利子補給(融資利率の1/2)を実施。	利子補給金額 3,179,190円 利子補給件数 265件	
	(3) 育児にかかる経済的負担の軽減						



市原市次世代育成支援行動計画(後期計画) 実績等一覧表(平成25年度)

資料1

基本目標	基本施策	【事業番号】事業名(担当課) 事業内容	H25 計画	H25 実施	後期計画実施状況	
					平成25年度	
I ともに育てるまちを目指して	3 要保護児童への対応などきめ細かな取組の推進	【1323】私立幼稚園等園児補助(拡充) (保育課) 私立幼稚園等に在園する幼児の保護者に対して補助金を交付していきます。	有	実施	私立幼稚園等に在園する園児の保護者の経済的負担を軽減するため、満3歳児・3歳児については月額2,000円、4歳児・5歳児については月額2,500円の補助金を交付した。 目標数値として掲げた「満3・3歳児の補助額引き上げ」については、市実施計画の中では、他の幼稚園関係補助金を優先することになり、採択とならなかった。同じ保護者に対する補助金である「就園奨励費補助金」が国の単価改正に合わせ、毎年単価を引き上げていることなどから、この補助金の引き上げについては見送ることとした。	【満3歳児・3歳児】 1,154人 26,074千円  【4歳児・5歳児】 2,774人 80,141千円
		【1324】就学経費の負担軽減(継続) (教育総務課) 小中学校の学習に必要な補助教材等の購入費用の一部を市費負担としています。今後も継続して実施していきます。	有	実施	・ワークブック等負担 (小2,670円/人・中3,290円/人) ・学力・知能テスト経費負担	経費:57,281千円 経費:9,827千円
		【1325】遠距離通学費の支援(継続) (教育総務課) 遠距離から通学している児童・生徒への補助について、今後も継続して実施していきます。	有	実施	・補助金交付 (対象:児童4km超・生徒6km超) ※加茂小学校児童については距離に関わらず全額補助	補助: 小学校(8校) 7,914千円 中学校(3校) 2,472千円
		【1326】要保護及び準要保護児童・生徒の支援(継続) (学校教育課) 経済的理由により就学困難と認められる児童・生徒への就学援助について、制度の周知を図り、真に就学援助が必要な者の把握に努め、援助を継続して実施していきます。	有	実施	経済的理由により就学困難と認められる児童・生徒への就学援助を行った。	認定者数 小学校 1,846人 中学校 1,105人
		【1327】子育て応援の店事業(新規) (子ども福祉課) 多子世帯を経済的に支援するため、協賛店舗の増加に努めるとともに、制度を周知していきます。	無	完了・実施	・子育て応援の店事業は、要綱に規定する期限(平成25年3月31日)で終了した。 ・平成24年7月から同様の内容である千葉県の「子育て応援!チーパス事業」に協力し、平成25年度も継続して実施した。 ・母子手帳交付時、出生届提出時、対象世帯転入時並びに紛失の申出時に「チーパス」を配付した。	チーパス協賛店 4,531店舗 (市内 220店舗) (平成26年3月31日末現在)

市原市次世代育成支援行動計画(後期計画) 実績等一覧表(平成25年度)

資料1

基本目標	基本施策	【事業番号】事業名(担当課) 事業内容	H25 計画	H25 実施	後期計画実施状況 平成25年度	
Ⅱ ともに育つまちを目指して	1 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備	<p>【2101】私立幼稚園等振興事業(継続) (保育課) 幼児教育の振興を図るため、私立幼稚園等に対する補助を今後も継続して実施していきます。〔園児教材費、教育研修費、障がい児指導費、子育て支援事業費、尿及び寄生虫卵検査事業費〕</p>	有	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金交付 〔運営費・園児教材費・教育研修費・障がい児指導費・子育て支援事業費・尿及び寄生虫卵検査事業費〕 ※平成23年度に運営費補助を新設</li> <li>助成金交付 〔心身障がい児教育事業費〕</li> </ul>	補助：計15,844,237円 〔園数：23園 対象園児：3,942人〕  助成：180,000円 〔園数：1園 対象園児：3人〕
		<p>【2102】学校施設環境整備(継続) (教育施設課) 児童・生徒の安全性・快適性から現状の整備水準を確保するため、計画的に施設の維持保全及び環境整備を進めます。</p>	有	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>〔外部改修〕 姉崎小学校屋外非常階段修繕工事 国分寺台西中学校部室外壁他改修工事 他</li> <li>〔内部改修〕 市東第一小学校4年普通教室ロッカー改修工事 湿津中学校屋内運動場床改修工事 他</li> <li>〔屋外環境整備〕 ちはら台桜小学校東側防砂ネット設置工事 姉崎東中学校武道場渡り廊下スロフ設置工事 他</li> <li>〔屋内環境整備〕 若葉小学校他2校普通教室扇風機設置他工事 若葉中学校他2校FF暖房機改修工事 他</li> <li>〔便所・内部改修〕 繰越事業(H25→26) 白金小学校内部改修 市原中学校便所改修 南総中学校内部改修</li> </ul>	〔学校施設整備実績〕 小学校 391件 中学校 237件
		<p>【2103】学校施設新增改築(拡充) (教育施設課) 教室不足が生じないように安全で安心して学べる教育環境を整備します。</p>	無	完了	平成23年度までに目標を達成	—
		<p>【2104】学校規模適正化の推進(新規) (教育総務課) 学校の小規模化が急速に進んでいる加茂地区において、4小学校を統廃合し、既設の加茂中学校施設内に統合した小学校を併設することにより、小中一貫教育校を開校します。</p>	有	実施	平成25年4月に加茂学園を開校し、加茂地区の4小学校について、学校規模の適正化を図った。	—
		<p>【2105】学校施設耐震対策(拡充) (教育施設課) 耐震診断基準で必要とされるすべての施設の整備を行い、児童・生徒の学校生活での安全性を確保するとともに、防災体制の強化を図ります。</p>	有	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震補強工事実施 11校12.5棟</li> <li>耐震補強設計実施 17校27棟</li> </ul>	耐震化率 約88.2% (前年比+4.3%)
		<p>【2106】少人数学級推進・少人数授業推進(継続) (学校教育課) きめ細かな学習指導や生活指導等を行うため、小学校1,2年生及び中学校1年生では、1学級あたり35人以下学級となる少人数学級推進事業を、また、小学校3～6年生の36人以上の学級では、国語と算数において少人数で授業を行う少人数授業推進事業を継続して実施していきます。</p>	無	完了・実施	国、県、市で小学校全ての学年を35人以下の学級編制とする「小学校少人数学級推進事業」を実施している。	—

市原市次世代育成支援行動計画(後期計画) 実績等一覧表(平成25年度)

資料1

基本目標	基本施策	【事業番号】事業名(担当課) 事業内容	H25 計画	H25 実施	後期計画実施状況		
					平成25年度		
Ⅱ ともに育つまちを目指して	1 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備	(1) 子どもの生きる力の育成に向けた教育環境の整備	【2107】外国人講師活用(継続) (指導課) ALTを小中学校に派遣し、「聞く・話す」を中心とした、実践的なコミュニケーション能力の育成を図ります。	有	実施	・市内22中学校にFLT16名を派遣し、日本人教師と共に、英語の授業を実施した。月曜日から木曜日を中学校勤務とした。 ・市内46小学校に民間委託FLT15名を派遣し、5・6年生を対象に月1回程度学級単位で、学級担任と共に英語活動を実施した。金曜日を小学校勤務とした。 ・年に1回、民間委託FLT6名を幼稚園へ派遣し、園児とFLTとの交流の機会を提供した。	FLT16名 (民間委託15名+姉妹都市1名)
			【2108】スクールカウンセラー設置事業(継続) (指導課) スクールカウンセラー(県)とスクールカウンセラーアシスタント(市)を配置し、継続していじめや不登校などの様々な問題や子育てに悩む保護者への対応に取り組んでいきます。	有	実施	・市内22校全中学校にスクールカウンセラーアシスタントを配置し、当該中学校の生徒・保護者・教職員の問題に関わる相談に対応した。 ・県雇用のスクールカウンセラーと連携を密にし、生徒の教育相談に対し、互いに情報交換をして、いじめ・不登校などの様々な問題に対応した。	スクールカウンセラーアシスタント相談状況 〔相談受理件数〕 23年度 14, 417件 24年度 14, 888件 25年度 15, 541件
			【2109】学校支援ボランティア整備(継続) (指導課) ボランティアを公募し、地域の人材を活用することで、様々な分野での教育力を高めていきます。	有	実施	各教科、領域、クラブ活動、部活動等の学習支援や図書ボランティアによる読み聞かせ等により、地域教育力の活用及び教育環境の充実に大きな成果があった。校外学習引率等の安全対策により、事故防止や防犯等に大きな成果をあげている。また、花壇や植木の手入れ、畑の耕作、草刈り等の環境整備、図書整理やクラブ活動学習支援により、より充実した学習機会が提供できた。 学校支援コーディネーターの選出により、地域と学校を結ぶ取り組みが図られている。	登録者数 平成23年度 2, 112人 平成24年度 2, 290人 平成25年度 2, 288人
			【2110】心の教育の充実(継続) (指導課) 道徳・人権教育、読書指導等、心の教育の分野に関する職員の指導力の向上を図り、児童・生徒の豊かな心を育成します。	有	実施	・道徳・人権教育、読書指導については、指導主事が要請を受けた学校に講師として赴き、教員に授業指導にあたった。	・道徳授業・人権教育指導主事訪問校数 12校 ・読書指導校数 65校 ・生徒指導対策嘱託職員派遣 小学校2校、中学校1校
			【2111】教育相談事業(継続) (教育センター) 児童・生徒の相談等について、専門的な対応をしています。適応指導教室(フレンド市原)で、長欠児童・生徒への支援を行っています。	有	実施	①電話、面接等による教育相談を行い、不登校児童・生徒の学校復帰を支援した。 ②適応指導教室において、不登校状態が長期化している児童・生徒へ積極的な援助を行った。 ③不登校児童生徒を抱える教員へ指導方針等関り方について、指導・助言を行った。	①相談件数82件 ②延べ相談回数664回 ③適応指導教室入級者数27人



市原市次世代育成支援行動計画(後期計画) 実績等一覧表(平成25年度)

資料1

基本目標	基本施策	【事業番号】事業名(担当課) 事業内容	H25 計画	H25 実施	後期計画実施状況 平成25年度		
Ⅱ ともに育つまちを目指して	1 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備	(1) 子どもの生きる力の育成に向けた教育環境の整備	【2112】コンピュータ活用教育推進(継続) (教育センター) 校内LAN整備を進めるとともに、パソコン1台当たりの児童・生徒数を5.4人に近づけ、児童・生徒の学力向上を図ります。	有	実施	○校内LANの整備 ・23年度までに、小中学校65校に校内LANの整備完了した。 ・24年度に保守契約を結んだ。 ・校内LAN・大型テレビの活用方法についての研修を実施した。 ・25年度に特認校2校にアクセスポイントの更新をした。  ○学習用パソコンの整備 ・25年度にパソコン教室用のパソコンをノート型に更新した。 ○校務用パソコンの整備 ・25年度に校務用のパソコンを教職員に一人一台配置した。	【学習用コンピュータ1台あたり】 児童・生徒：11.6人/台 小学校：15.0人/台 中学校：8.1人/台 【校務用コンピュータ】 1854台を全職員に配置
			【2113】教職員研修(継続) (教育センター) 研修会を通し、教職員の意識改革、資質及び指導力の向上を図り、児童・生徒や保護者への対応や支援を、よりきめ細かく高度なものとしていきます。	有	実施	○教科領域の指導に関する講座・教師の資質向上(教育相談・特別支援教育含)に関する研修・ICT利活用に関する研修・いちほら教職員セミナー等実施。	開設講座 86講座(昨年比+16講座) 参加者数 2315名(昨年比+58人) 満足者数 97.8%(昨年比-0.1%)
			【2114】幼児教育振興計画の策定及び推進(継続) (教育総務課) 幼児教育や子育て支援の一層の充実と振興を目指す行動計画を策定し、推進していきます。	有	未実施	未実施	—
		(2) 家庭や地域の教育力の向上	【2115】学校・家庭・地域を結ぶ集会事業(継続) (指導課) 地域の人々が集い、学校・家庭・地域社会が本音で語り合うことを通して、互いに理解しあい、協力しあう環境・地域コミュニティづくりを目指します。	有	実施	・1校単独開催、地区小中学校合同開催等、学校や地域の実情に合わせて開催した。また地域の子ども達にあったテーマを設けて討議したり、講師の講話やパネルを設けての討議など、創意工夫が見られた。	集会実施率100% 市内全小中学校65校が単独もしくは合同で、延べ43ヶ所で開催した。 参加者数 4,681名
			【2116】市PTA連絡協議会の活動支援(継続) (生涯学習センター) 家庭や地域の教育力の向上を図るため、「親の学びと交流フォーラム」をはじめとするPTA連絡協議会の活動を支援し、地域ぐるみで子どもを育てる意識を醸成していきます。	有	実施	・「親の学びと交流フォーラム」 ・市P連バレーボール大会の開催 ・市P連定期総会の開催 ・広報紙を年2回発行	・「親の学びと交流フォーラム」 参加人数 163名 ・市P連バレーボール大会 参加人数 180名
			【2117】市原・袖ヶ浦青少年少女発明クラブへの支援(継続) (生涯学習センター) 市原・袖ヶ浦青少年少女発明クラブの実施する事業に引き続き助成を行っていきます。	有	実施	○姉崎小学校において、毎月第2・4土曜日に小学校3年生以上中学校1年生までを対象として科学工作教室を実施(木工、電気、化学等の原理を利用した工作、アイデア工作) ・上級クラス 18名 ・中級クラス 42名 ・初級クラス 79名 計139名 ・施設見学「東芝科学館」 ○運営補助金561,600円交付	実施回数 参加者数(延べ人数) 上級クラス 19回 238名 中級クラス 19回 645名 初級クラス 19回 1092名 施設見学会 1回 156名

市原市次世代育成支援行動計画(後期計画) 実績等一覧表(平成25年度)

資料1

基本目標	基本施策	【事業番号】事業名(担当課) 事業内容	H25 計画	H25 実施	後期計画実施状況		
					平成25年度		
Ⅱ ともに育つまちを目指して	1 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備	(2) 家庭や地域の教育力の向上	【2118】家庭教育学級〈継続〉 (生涯学習センター) 保護者自身が親の役割や子どもの心の理解などを学習する場として、家庭教育学級の開設を支援していきます。	有	実施	・小学校7校、中学校3校で開設 ・学級運営に関する助成 (講師謝金、消耗品費)	7小学校×各7回 3中学校×各8回 延参加者13,106人
			【2119】子育て学習支援事業〈継続〉 (生涯学習センター) すべての親へのきめ細かな支援策として、保護者が学校に集まる機会を活用することにより、より多くの保護者へ学習機会を提供していきます。	有	実施	子育て講座を実施する学校への講師謝礼金の補助を実施。(1校3万円を上限)	実施校:7校 参加者:747人
			【2120】家庭教育・子育て青少年教育事業〈継続〉 (生涯学習課) 地域の教育力を高めるため、公民館において幼児、小中学生、青少年、親子を対象として、生活体験活動、自然体験活動、芸術、スポーツなどの各種講座を実施していきます。	有	実施	・市内公民館の主催事業として実施	市内公民館合計 ・事業数 118講座 ・参加数 13,274名
			【2121】姉妹都市との交流事業〈継続〉 (人権・国際課) 姉妹都市への青少年派遣事業に対する支援を継続して行います。	有	実施	7月27日から8月6日までモビール市に市内の青少年を派遣した。 ・参加者の募集(広報いちほら、市HP、庁内及び出先機関にポスター掲示及びチラシ配布、JR3駅にポスター掲示、市内全中学校・高等学校にチラシ配布) ・募集期間 5月1日～5月31日まで ・選考試験 6月9日 市原市勤労会館 面接(英会話を含む)、集団討論 ・事前研修 6～7月(全5回)	青少年10名、引率者2名の計12名を派遣した。
			【2122】青少年の国際交流〈継続〉 (生涯学習課) 青少年の地域間交流、国際交流を推進していきます。	有	実施	・コスモス国際親善少年野球事業及び少年の翼事業への後援・補助	後援:2事業 補助:2事業・1,672千円
			【2123】キッズチャレンジショップ〈継続〉 (商工業振興課) 子どもたちが仕入れから販売までの一連の商業活動を体験することを通して、地域の人々と交流し、コミュニケーション力などの様々な能力を育てていきます。	有	実施	子供たちに「商売のしくみ」や「商売のおもしろさ、やりがい」を体験してもらうことで、将来の職業選択の一つとして商業を考えてもらい、将来の商業者を育てていくことを目的として、仕入れから販売までの一連の商業活動体験として実施した。	出店場所:五井大市、姉崎門前市会場内 出店日数:2日 ※平成24年度より、補助金に頼らない市原青年会議所の自主事業として実施した。
			【2124】民俗芸能団体への補助〈継続〉 (ふるさと文化課) 子どもたちが多様な文化に親しむ機会を提供していくため、発表の場をつくります。また、地域の伝統芸能・民俗芸能を継承する活動を行う団体に対して、継続して補助していきます。	有	実施	・団体への補助 ・郷土芸能大会の実施 ・市原ふるさと芸能フェスタの実施	・549千円 ・120人 ・30人
			【2125】子どもものづくり体験講座〈新規〉 (ふるさと文化課) ふるさとの歴史に興味や関心を持てるよう、夏休み期間中に児童を対象とした古代のものづくり体験講座などを行います。	有	実施	・バス研修(会場:鴨川) ・体験講座(会場:埋文センター)	・33人 ・129人

市原市次世代育成支援行動計画(後期計画) 実績等一覧表(平成25年度)

資料1

基本目標	基本施策	【事業番号】事業名(担当課) 事業内容	H25 計画	H25 実施	後期計画実施状況 平成25年度			
Ⅱ ともに育つまちを目指して	1 子どもの心身の健全な成長に資する教育環境の整備	【2126】市民スケッチ大会〈継続〉 (ふるさと文化課) より多くの子どもたちの参加が得られ、芸術文化に親しむきっかけとなるよう、工夫しながら継続して実施していきます。	無	完了・実施	・真夏の美術鑑賞ツアーの実施 (会場：神奈川県立近代美術館鎌倉館)	・40人(子ども10人、大人30人)		
		【2127】中学校音楽鑑賞教室〈継続〉 (指導課) 生のオーケストラの演奏を聴き、芸術活動への参加意欲や興味が芽生えるきっかけとなるよう、中学校音楽鑑賞教室を継続して実施していきます。	有	実施	中学校でニューフィルハーモニーオーケストラ千葉の演奏を聴く音楽鑑賞教室を実施した。	市内中学校7校で実施 ちはら台西中学校、ちはら台南中学校 五井中学校、若葉中学校 三和中学校、双葉中学校 千種中学校		
		【2128】生徒指導対策支援〈継続〉 (指導課) 生徒指導が難しい状況の学校へ嘱託職員を派遣し、積極的に生徒たちとかわかすることで改善を図ります。	有	実施	市立京葉小学校へ1名派遣 市立明神小学校へ1名派遣 市立南総中学校へ1名派遣	生徒指導対策嘱託職員派遣 小学校2校、中学校1校(各1名) (H25年5月7日～H26年3月31日)		
	2 生涯学習機会の充実	(2) 家庭や地域の教育力の向上	【2129】青少年非行化防止活動の推進〈継続〉 (青少年指導センター) 地域等の積極的な協力のもと、関係機関等との連携を深め、非行化傾向にある青少年や、悩み事を抱えている青少年などに対し、積極的な支援を行っていきます。	有	実施	・青少年指導センター所員、青少年補導員等による街頭補導活動の実施 ・薬物乱用防止教室の実施 ・問題行動防止教室の実施 ・相談活動の実施(電話、メール、来所、訪問等) ・非行化防止作品展の実施(11月)	・街頭補導活動実施回数：604回 ・薬物乱用防止教室の実施：60回 ・問題行動防止教室の実施：15回 ・相談活動の実施：624回	
			(3) 子どもを取り巻く有害環境対策の推進	【2201】地区運動広場の整備(加茂地区)〈継続〉 (スポーツ振興課) 加茂地区の地区運動広場の整備を行い、生涯スポーツの振興を図ります。	有	実施	・平成24年度4月1日供用開始  ・施設管理については、地元の「本郷管理組合」に依頼し、市内類似施設と同等以上の水準で維持管理された。  ・高滝湖マラソン、市民体育祭、加茂ふれあいクラブでの利用のほか、地区夏祭り・地元消防団の練習等での利用を図った。	利用者数 6,991人 (スポーツ利用に限る)
				【2202】スポーツ・レクリエーションイベントの開催〈継続〉 (スポーツ振興課) 既存のイベントや、ニュースポーツ普及活動、各種スポーツ教室を実施し、生涯スポーツの振興を推進します。	有	実施	市主催事業の実施 ・いきいき市原ワンデーマーチ ・市原市ソフトバレーボール大会 ・市原市サマーカップ野球大会 ・市原市ジュニアゴルフ教室 ・市民体育祭 ・養老溪谷ファミリーハイキング ・市原市健康マラソン・駅伝大会(※降雪のため中止)  各地区行事としてニュースポーツ普及活動等を実施 ・スポーツ・レクリエーション祭	市主催事業総参加者数：25,467人 (うち スポーツレクリエーション祭総参加者数：2,412人)
(1) 地域におけるスポーツ環境の整備	【2203】スポーツ・レクリエーション指導者養成〈継続〉 (スポーツ振興課) 現在、市体育指導委員会を中心として実施している審判講習会等に加え、市体育指導委員の有効活用、指導者の登録制度の確立、体育協会自主事業化の推進を実施します。	有	実施	スポーツ推進委員の審判講習会・研修会の実施 スポーツ推進委員の市主催事業・イベント等の企画・運営  (公財)市原市体育協会主体による、スポーツ指導者バンクの運営	スポーツ推進委員の市主催事業・イベント等の出席回数：865回			



市原市次世代育成支援行動計画(後期計画) 実績等一覧表(平成25年度)

資料1

基本目標	基本施策	【事業番号】事業名(担当課) 事業内容	H25 計画	H25 実施	後期計画実施状況	
					平成25年度	
Ⅱ ともに育つまちを目指して	(1) 地域におけるスポーツ環境の整備	【2204】地域スポーツの活性化(継続) (スポーツ振興課) 地域スポーツの活動拠点として学校施設の開放を推進し、生涯スポーツの地域振興を図っていきます。また、文部科学省が提唱している、総合型地域スポーツクラブの設立及び運営の支援を行います。	有	実施	各小中学校体育施設開放事業 総合型地域スポーツクラブの運営支援	学校体育施設開放事業利用者数：622, 144人 運営支援した総合型地域スポーツクラブ数：3クラブ
		【2205】ホームタウンとしての特性を活かした幼少期からのスポーツ振興(拡充) (スポーツ振興課) サッカーや野球を含めたホームタウンとしての特性を生かして、幼少期からのスポーツ振興に取り組んでいきます。	有	実施	①スポーツ体験教室 ジェフユナイテッド市原・千葉のプロスポーツコーチを、市内の全市立保育所、幼稚園、小学校に派遣し教室を実施。 ②いちほらっこふれあいパスポート トップレベルの競技スポーツの観戦機会を提供。 ③ホームタウンふれあいフェスタ 姉崎サッカー場にて、本市の子供とジェフユナイテッド市原・千葉の選手とのボール遊びや写真撮影などのイベントを実施。 ④野球&ダンス教室 千葉ロッテマリーンズのコーチ等を市内の全保育所、幼稚園、小学校に隔年で派遣し教室を実施。	①参加者数 9, 201人 ②配布数 22, 764枚 ③参加者数 187名 ④参加者数 3, 476人
	(2) 読書教育の推進	【2206】子ども読書活動の推進(継続) (中央図書館) 「市原市子ども読書活動推進計画」を改訂し、毎年度の実績等について進行管理を行い、読書活動を推進していきます。	有	実施	・中央図書館及び関連部署で計画掲載事業を実施 ・進行状況調査(平成24年度実績)を実施	・進行状況調査結果(平成24年度実績) 計画掲載事業 71事業中70事業実施(実施率98.6%)
		【2207】中央図書館の子ども対象事業(継続) (中央図書館) おはなし会や映画鑑賞会を開催し、子どもの来館機会を設け読書活動の推進を図ります。	有	実施	・定例おはなし会(毎月第1・3水曜日に開催) ・映画会(春・秋の読書週間、夏休み期間、クリスマス等に開催)	・おはなし会：23回開催 参加者527名 ・映画会：57回開催 参加者2, 244名
		【2208】ブックスタート事業(継続) (中央図書館) ボランティアの協力を得ながら、1歳6か月児健診受診者に絵本の読み聞かせ及び配布を実施していきます。	有	実施	市内5会場で毎月行われる1歳6か月児健診の際に、絵本の読み聞かせ及び配布を行った	実施回数：60回 配布冊数：2, 078冊
		【2209】読書教育推進(継続) (指導課) 読書指導員を全校に配置し、読書教育の推進を図ります。	有	実施	・図書館司書の資格を有する読書指導員29名を、全小中学校に配置(2~3校兼務)することで学校図書館の有効利用を推進した。 ・図書主任研修会の開催 ・市内全小中学校で朝の読書活動を実施	・読書指導員研修会実施(3回) ・図書主任研修会実施 1回 ・優良図書館認定校の増加(37→40)
		【2210】公民館図書室環境整備事業(継続) (生涯学習課) 選書を工夫したりレイアウトや相談体制を工夫することで、子どもの利用の拡大を図っていきます。	有	実施	選書やレイアウト及び相談体制を工夫し、子どもの利用の拡大を図った。	児童図書貸出状況 227, 518冊

市原市次世代育成支援行動計画(後期計画) 実績等一覧表(平成25年度)

資料1

基本目標	基本施策	【事業番号】事業名(担当課) 事業内容	H25 計画	H25 実施	後期計画実施状況		
					平成25年度		
Ⅲ ともに健やかに暮らせるまちを目指して	1 親子の健康の確保及び増進	(1) 子どもや母親の健康の確保	【3101】妊娠出産育児に関する情報提供、定期的な健康診査の受診勧奨及び相談窓口の充実(継続) (保健センター) 不安なく妊娠・出産・育児に臨むことができるよう、適切な情報の提供及び相談窓口の充実を図ります。また、定期的な妊婦健診の必要性について周知することで、疾病の予防、異常の早期発見に努めます。	有	実施	母子健康手帳の交付、活用の推進 冊子「妊娠おめでとうございます」配布 「母性健康管理指導事項連絡カード」周知 プレママ教室の実施 市ホームページ母子保健情報の充実 歯っぴいママ健診の実施 各種相談事業の実施 周産期保健に関する連絡調整会議 「マタニティマーク」の配布・周知 新生児訪問事業の普及・充実	妊娠11週以前での届け出率：93.5% 妊娠中の定期健診の受診率：99.4% (参考値) 生後1か月頃に母乳保育をしている母親の割合：45.1%
			【3102】ハイリスク妊婦へのフォロー体制の充実(継続) (保健センター) 喫煙によるタバコの害・飲酒についての正しい知識を普及します。また、若年・高齢妊婦や既往歴等のあるハイリスク妊婦を中心に、妊娠初期からの日常生活健康管理等の保健指導・相談の充実を図ります。	有	実施	喫煙・飲酒についてのリーフレットを配布 ハイリスク妊婦の保健指導の実施 妊婦訪問指導、電話相談 プレママ教室 医療機関等との連携	周産期死亡率 2.4(出産千対) 妊娠中の妊婦の喫煙率：5.8% 妊娠中の妊婦の飲酒率：0.4%
			【3103】育児に関する相談・健診体制等の充実(継続) (保健センター) 各種の相談健診体制を充実することで、疾病や育児不安等の問題を早期に発見し、適切に対応することで、育児不安を解消し、親子の健康の増進を図ります。	有	実施	母子健康手帳交付 電話面接相談(子育てほっとダイヤル・母子健康相談・子育て会等) 新生児・産婦訪問指導、母子訪問指導の実施 1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査の実施 幼児教室、3歳児健康診査事後教室(きらきら教室・いちご教室)の実施 幼児相談(すこやか親子相談・ことばの相談)の実施 乳児一般健康診査 育児交流の場(子育て会、子育て支援センター等)での健康教育	1歳6か月児健康診査受診率 95.8% 3歳児健康診査受診率 92.6% 育児について相談相手がない保護者 5.4%
			【3104】予防接種の啓発 疾病の発症及び蔓延の予防(継続) (保健センター) 生後2か月の子どもがいる家庭に「予防接種のすすめ」を送付し、予防接種スケジュール等の情報提供をしていくとともに、必要に応じて未接種者への接種勧奨をします。	有	実施	生後1か月の子どもがいる家庭に「予防接種のすすめ」を送付し、予防接種スケジュール等の情報提供をしていくとともに、必要に応じて未接種者への接種勧奨をします。	・BCG接種率 85% ・DPT三種混合予防接種率 24% ・MR麻しん風しん混合接種率 1期 93% 2期 90%
			【3105】乳幼児突然死症候群及び不慮の事故に関する啓発(継続) (保健センター) 乳幼児突然死症候群(SIDS)の正しい知識や、子どもの発達に合わせ家庭でできる事故防止について、育児相談や教育の場で啓発します。万が一事故が起きた場合、家庭で適切な対応がとれるよう情報を提供します。	有	実施	各相談・教育の場での啓発 誤飲防止ルーラーの配布(母子健康手帳に付帯) パンフレット各種資料の配布	事故防止の工夫をしている家庭の割合 誤飲防止の工夫をしている 96.8% 浴槽への転落防止の工夫をしている 87.3% チャイルドシートを着用している 97.9%
			【3106】むし歯の予防(継続) (保健センター) フッ化物の応用や食習慣とむし歯の関係についての知識を周知し、効果的なむし歯予防を推進します。むし歯の無い元気な口でおいしく食べ、楽しい生活をおくることができるようにします。	有	実施	・元気な口で噛ミング30講座(22回) ・フッ素でぶくぶく笑顔がキラキラ応援事業 ・8020ニコニコ教室(51回)	12歳児の1人平均むし歯数 1.14本

市原市次世代育成支援行動計画(後期計画) 実績等一覧表(平成25年度)

資料1

基本目標	基本施策	【事業番号】事業名(担当課) 事業内容	H25 計画	H25 実施	後期計画実施状況 平成25年度		
Ⅲ ともに健やかに暮らせるまちを目指して	1 親子の健康の確保及び増進	(1) 子どもや母親の健康の確保	【3107】 歯肉炎の予防(継続) (保健センター) 生涯を通じた歯周病対策として歯間部清掃等、口腔清掃の定着を推進します。また、かかりつけ歯科医での定期健診や相談を勧奨し、口腔の健康づくりを推進していきます。	有	実施	・元気な口で噛ミング30講座 ・健歯コンクール ・防煙教育	中学3年生の歯肉炎の所見有 16.6%
		(2) 食育の推進	【3108】 食育の推進(継続) (農林業振興課) 本市の農業や特産品等の食の資源を活かし、市民一人ひとりが食の楽しさ、食への理解、地域の農の力を認識し、食育活動に取り組むため、食育推進計画を推進していきます。	有	実施	市原市農林業振興協議会食育推進部会の設置 米作り体験会の実施 親子太巻き寿司教室の実施	米作り体験会 28組 親子太巻き寿司教室 8組18人
			【3109】 食に関する指導等の推進(継続) (保育課) 入所児童と保護者、地域の子育て世代に対する食育の取組を推進します。	有	実施	保育所児童への食育(栄養士巡回時)	参加児童数: 1,827人
			【3110】 食に関する指導等の推進(継続) (学校保健課) 給食を通じ、正しい食習慣を身につけ、児童生徒の健康保持を図ります。	有	実施	・学校栄養職員が小学校3年生を対象にして食に関する指導を行った。 ・調理場職員が給食時間等に学校を訪問し、給食のPRや栄養指導を行った。 ・児童、生徒が調理場を訪れ職場体験学習を行った。	・食に関する指導(小3対象)166回 ・給食状況参観、栄養指導(小3以外)32回 ・職場体験学習 10回
			【3111】 家庭と地域で育てる望ましい食習慣の確立(継続) (保健センター) 食育推進により、家族を含めた乳幼児期からの食習慣の確立を図ります。	有	実施	・母子健康相談 ・子育てホットダイヤル ・あかちゃんからの食育講座 ・離乳食教室(カミカミ期) ・1歳6か月児健診及び3歳児健診児食事相談 ・幼児食教室	食事に不安を持っている保護者の割合 1歳6か月児で60.7% 3歳児で55.7% 毎日朝食をとっている幼児の割合 1歳6か月児で96.7% 3歳児で96.5%
			【3112】 生命の尊さ、性の教育への取組(継続) (保健センター) 教育機関と連携し、性感染症予防、人工妊娠中絶率の減少を目指していきます。また、生命の尊さを考える機会を支援していきます。	有	実施	思春期セミナー10校実施 市内中学校への教材貸し出し 1校 その他の団体へ教材貸し出し 1団体 思春期セミナー実施時に学校養護教諭に専門相談窓口についてのリーフレット配付(市内10校) 保健所主催「思春期専門員会」への出席 1回	①性感染症とはどのような病気かわかる中高生の割合: 30.8%(中学生) ②20歳未満人工妊娠中絶実施率(15歳以上20歳未満女子人口千対): 8.657
		【3113】 防煙教育への取組(継続) (保健センター) 教育機関と連携し、小学生防煙教育を通して「タバコの害」について正しい知識を普及します。	有	実施	小学生防煙教育 5校実施 保護者への啓発(防煙教育参加の呼びかけと保護者向けリーフレットの配布) 辰巳台東小、千種中で防煙教育を実施(地区活動)	喫煙をしている中高生の割合: 中学3年生 男子1.4% 女子0.9% 高校3年生 未調査	
		(4) 小児医療の充実	【3114】 時間外小児二次救急診療(継続) (保健福祉課) 帝京大学ちば総合医療センター、千葉労災病院、千葉県循環器病センターの中核3病院の輪番制による時間外小児二次救急診療を実施していきます。	有	実施	・時間外小児二次救急診療の実施	患者数1,843件
			【3115】 プライマリ・ケアの推進と医療機関のネットワークづくり(継続) (保健福祉課) いちほら医療マップの配布やインターネットでの医療情報の提供によって、子育て家庭の病院選びを支援していきます。	有	実施	・暮らしの便利帳の配付 ・いちほら健康・医療相談ダイヤル24事業の実施	電話相談件数 14,953件



市原市次世代育成支援行動計画(後期計画) 実績等一覧表(平成25年度)

資料1

基本目標	基本施策	【事業番号】事業名(担当課) 事業内容	H25 計画	H25 実施	後期計画実施状況 平成25年度		
Ⅲ ともに健やかに暮らせるまちを目指して	2 誰もが安心して暮らせる安全な生活環境の整備	(1) 児童虐待防止対策の充実	【3201】児童虐待の早期発見と予防の推進(継続) (子ども福祉課) 児童虐待に関することや、虐待を発見した際の対応などの情報を周知し、地域全体で児童虐待の早期発見や予防に取り組む意識を醸成します。	有	実施	○冊子「家庭児童相談業務の概要」の配布 ・小中学校、幼稚園、保育所、民生委員、子育て支援員など ○リーフレット「こんにちは家庭児童相談室です」の配布 ・子育て支援員、訪問時など	○冊子「家庭児童相談業務の概要(平成25年度版)」 730冊(配布670冊、事務用60冊) ○「こんにちは家庭児童相談室です」 230枚(子育て支援員180枚、訪問時配布50枚)
			【3202】児童虐待防止対策の充実(継続) (子ども福祉課) 要保護児童対策地域協議会により、幅広く関係機関との連携を図るとともに、虐待の未然防止に向けた迅速かつきめ細かな対応を図ります。	有	実施	・要保護児童対策地域協議会(各会議)の開催 ・同協議会代表者会議の開催 ・同協議会実務者会議の開催 ・同協議会個別支援会議の開催	・代表者会議開催 1回 ・実務者会議の開催 12回 ・個別支援会議の開催 41回
			【3203】家庭や児童に対する相談事業(継続) (子ども福祉課) 家庭児童相談員が相談等を行い、保護者の育児不安の解消や要保護児童への早期対応を図ります。	有	実施	・家庭児童相談員による相談業務 ・電話相談、面接相談、関係機関との連絡調整	・新規相談件数510件
			【3204】虐待の発生予防、早期発見及び支援(継続) (保健センター) 健診・相談体制の充実を図り、保護者のストレス等を軽減することで、虐待の発生を予防します。また、虐待の疑いを早期に発見し、早期支援につなげていきます。	有	実施	各種相談・教室・健診時における個別相談の実施 母子健康手帳交付時の保健師による早期発見の対応(各種窓口の紹介) 家庭訪問、電話相談による継続的支援の実施 各健診未受診者の状況把握の実施 各関係機関への情報提供・情報共有	1歳6か月児健康診査未受診者対応率 100% 3歳児健康診査未受診者対応率 100%
			【3205】保育所の安全管理(継続) (保育課(保育所)) 防犯訓練を実施するとともに、防犯備品の整備を検討していきます。	有	実施	不審者進入を想定した避難訓練(公立保育所)	各施設年1回実施
			【3206】安全教育推進(継続) (指導課) 生活安全、交通安全、災害安全教育を推進し、子ども達の安全を確保していきます。	有	実施	各安全教室の実施 防災避難訓練の実施 登下校時の見守り活動の実施	全小中学校65校で実施
			【3207】子ども110番事業(継続) (生涯学習課) 青少年育成市民会議と連携して子ども110番の家を指定し、地域住民・学校関係者・団体やボランティア等が連携して子どもの安全を守ります。	有	実施	学区単位で設置状況の確認・点検・設置の推進	平成26年3月末日時点での登録件数 3,215件

市原市次世代育成支援行動計画(後期計画) 実績等一覧表(平成25年度)

資料1

基本目標	基本施策	【事業番号】事業名(担当課) 事業内容	H25 計画	H25 実施	後期計画実施状況 平成25年度	
Ⅲ ともに健やかに暮らせるまちを目指して	2 誰もが安心して暮らせる安全な生活環境の整備	(3) 子どもの交通安全を確保するための活動の推進				
		【3208】通学・通園路の事故防止対策(継続) (教育施設課) 安全点検の強化や地域との連携により通学路での事故0を目指します。	有	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学路交通安全プログラムの策定</li> <li>通学通園路事故防止対策協議会の開催</li> <li>通学路の指定等(新規・追加・変更)</li> <li>交通安全運動期間中における通学路の安全点検の各小中学校への依頼</li> <li>通学路の安全対策に関する関係機関への要望(通学路危険箇所調査・緊急合同点検によるものを除く)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学路交通安全プログラムの策定(3月)</li> <li>通学通園路事故防止対策協議会の開催: 年2回</li> <li>通学路の指定等(新規・追加・変更): 5校 5件</li> <li>交通安全運動期間中における通学路の安全点検の各小中学校への依頼 年4回(4月、7月、9月、12月)</li> <li>通学路の安全対策に関する関係機関への要望(通学路危険箇所調査・緊急合同点検によるものを除く) 16校 18件</li> </ul> <p>【内訳】 新設要望 11校 12件 補修・改良等 5校 6件</p>
		【3209】安全な道路交通環境の整備(継続) (道路維持課・南部土木事務所) 交差点の道路照明を設置し、子どもの交通事故の発生件数を減少させます。	有	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>交差点の道路照明設置</li> <li>歩道の段差解消</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路照明設置: 4基</li> <li>歩道の段差解消: 15か所</li> </ul>
		【3210】商店街共同施設設置補助(継続) (商工業振興課) 防犯効果も期待できるため、商店街街路灯設置に要する経費に対する補助を行っていきます。	有	実施	姉崎中央商店会での商店街街路灯設置(建替え)に要する経費について補助を実施した。	実施主体: 姉崎中央商店街 本数: 41本
		【3211】子どもの交通安全を確保するための活動の推進(継続) (生活安全課) 交通安全の重要性を再認識してもらうために、心に残る交通安全教室を継続して開催していきます。	有	実施	交通安全教室の実施 (保育所・幼稚園・小学校・中学校)	平成25年度交通安全教室 開催数: 238回 参加者: 15,610人
	(4) 良質な生活環境の整備	【3212】「市原市バリアフリー基本構想」見直し(新規) (交通政策課) 平成22年度までの「市原市交通バリアフリー基本構想」を見直し、公園、施設なども含めた総合的なバリアフリー構想を策定します。	有	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○H23年3月 「市原市バリアフリー基本構想」を策定した。</li> <li>○H23年9月 市原市バリアフリー推進調整会議及びその下部組織である作業部会を設置した。同12月、市原市バリアフリー推進協議会を設置した。</li> <li>○H24年度 高齢者・障がい者を含む市民と協働で公共施設点検を行った。</li> <li>○H25年度 前年度公共施設点検結果を踏まえ、「公共建築物のバリアフリー化方針」を決定するとともに、心のバリアフリーの取組みの一環として、各施設における「職員の行動マニュアル」を策定・実践した。</li> <li>○H25年度の会議開催経過 ・庁内会議 バリアフリー推進調整会議3回、作業部会2回、行動マニュアル策定担当者会議2回 ・外部委員を含む会議 バリアフリー推進協議会1回</li> </ul>	H24年度の公共施設点検結果をもとに、「公共建築物のバリアフリー化方針」を決定し(H25.5)、重点整備地区内の市有公共建築物の整備方針を整理した。また、心のバリアフリーの取組みの一環として、重点整備地区内の市有公共建築物における「職員の行動マニュアル」を策定した(H25.10)。

市原市次世代育成支援行動計画(後期計画) 実績等一覧表(平成25年度)

資料1

基本目標	基本施策	【事業番号】事業名(担当課) 事業内容	H25 計画	H25 実施	後期計画実施状況		
					平成25年度		
Ⅲ ともに健やかに暮らせるまちを目指して	2 誰もが安心して暮らせる安全な生活環境の整備	(4) 良質な生活環境の整備	【3213】市原市道路特定事業計画(新規) (道路建設課) 視覚障がい者誘導標示の設置などバリアフリー基準に沿った道路整備を行っていきます。	有	実施	・平成25年度の進行管理 市原市道路特定事業に伴う関係各部署の進行管理を行い、平成26年3月に市原市バリアフリー推進協議会へ報告した。 ・平成26年度の補助要望 平成26年度事業の国の補助採択を受けるため、平成25年6月に概算要望、11月に本要望を実施した。	・平成25年度の進行管理 五井駅周辺地区 46.6% ・平成26年度の補助要望 市道23号線(五井中央東)詳細設計の補助採択
			【3214】街区公園整備(拡充) (公園緑地課) 街区公園の整備を推進します。	有	実施	公園の整備 ・郡本こもれび公園	住民1人あたりの街区公園面積 1.79㎡
			【3215】近隣公園整備(拡充) (公園緑地課) 近隣公園の整備を推進します。	有	実施	公園の整備 ・五井中川田公園	住民1人あたりの近隣公園の面積 1.87㎡
			【3216】路上違反広告物除却推進(継続) (都市計画課) 青少年健全育成上好ましくない道路上の違反広告物を、市民ボランティアと協働して除却します。	有	実施	団体による違反広告物の除却	除却枚数1,681枚/年
			【3217】千葉県福祉のまちづくり条例の適用(継続) (建築指導課) 乳幼児や子どもたちが安全に生活でき、保護者が積極的に社会参加できるよう、公益的施設等の建築確認申請の際に届出がされる計画について、千葉県福祉のまちづくり条例の整備基準に基づき、指導助言を行います。	有	実施	・届出物件について、整備基準に基づく審査、指導を実施	届出:22件(うち指導助言による改善啓発物件:16件)
			【3218】子どもの心を育む景観形成推進事業(継続) (都市計画課) 景観形成活動等への参加を通じ、地域への愛着が深まるよう、活動を推進します。	有	実施	わたしが選ぶ「いちほら景観100選」作品募集 審査会の開催	応募作品 121作品 入賞者数 11人
			【3219】放置自転車の解消事業(継続) (生活安全課) 安全に通行できるスペースを確保し、街の美観にもつながるよう、放置自転車の撤去を継続して実施します。	有	実施	・JR3駅周辺放置整理区域内の放置自転車の撤去 ・放置者に対する指導	平成25年度撤去台数:計1,799台 (JR3駅周辺)
			【3220】環境学習の推進(継続) (環境管理課) ビオトープや自然観察会など、自然を直に体験する機会を創出して、生命の大切さ、さらには他者への思いやりの心を育みます。	有	実施	・エコフェアいちほらの開催 ・各種自然観察会の実施 ・緑のカーテン事業の実施 ・環境保全推進絵手紙展の開催 ・こども環境フォーラムの実施 ・こどもエコクラブの活動支援	環境保全推進絵手紙展応募数 2,933作品(小中学校23校)